

令和4年度 事業計画書

(北方自然教育園)

I 事業方針

札幌市北方自然教育園は、札幌市の野外教育施設として学校教育における自然体験活動機会の提供を第一義と捉え、中でも農業体験を中心とした持続可能な社会の理解を深める体験活動を安定的に提供します。

学校カリキュラム等の変更に伴い、遠方からの体験農場参加希望校が減少傾向にあり、農業体験など作物の生育に触れる直接体験が減っている状況のなか、引き続き学校教育のサポート施設として学校補助教材を開発し、積極的に SNS・HP 等で配信することで自然体験活動の新たな形として学びの機会の提供を進めます。

II 事業内容

- ア. 市立幼稚園・認定こども園・学校に対する農業体験の機会提供に関する事業
- イ. 市立幼稚園・認定こども園・学校に対する生物教材の提供に関する業務
- ウ. 自然観察や採取等の学習機会の提供に関する業務
- エ. 自然体験に関する学習機会の提供に関する業務
- オ. 自然体験や展示に関する情報の収集および提供に関する業務
- カ. 自然体験や展示に関する市民の自主的な活動及び交流の支援
- キ. 自然体験や展示に関する相談業務
- ク. その他北方自然教育園の設置目的を達成するために必要な業務

III 重点目標

- ①市内の自然環境や動植物についてのセミナーを実施し、自然環境の保全や共生について考える機会を提供
- ②地域住民との関係性を深めるための地域活動への参加
- ③小中学校をはじめとする体験学習への安定的な機会提供および学習機会の強化
- ④生物教材配付の生物飼育方法の見直しと幼保小中学校への安定的な供給
- ⑤SNS、HP、オンライン会議等を活用した小中学校に対する事前および事後学習の支援
- ⑥指定管理者である当公益法人内の事業連携強化を図る。

ア. 市立幼稚園・認定こども園・学校に対する農業体験の機会提供に関する事業

| No. | 事業名 | 目的・内容（対象・参加人数等） | 時期・回数 |
|-----|------|--|-------|
| 1 | 体験農場 | 市立幼稚園、学校の学習指導要領と関連付けながら、農業体験を提供する。 自然環境と作物との関係を考え、仲間と共通体験を行う機会を提供する。また、水田の体験学習については田植えから脱穀、精米までの一連の流れを理解し、食べ物の大切さを考える機会を提供する。 オンラインや動画配信による生育状況の発信を行う。 〔対象〕市内小学1年生から中学校3年生 〔参加人数〕40校2,000名 | 5～11月 |

イ. 市立幼稚園・認定こども園・学校に対する生物教材の提供に関する業務

| No. | 事業名 | 目的・内容（対象・参加人数等） | 時期・回数 |
|-----|----------|--|------------|
| 2 | 教材用生物の提供 | 市立幼稚園・学校等に対してイネ・ヘチマ・コオロギ・カイコの生物教材を配付することにより昆虫や植物の生態を理解する機会を提供する。 生物教材飼育方法を見直しながら、より安定的な教材の提供を目指す。 〔対象〕市内幼保小中学校220校程度 | 配布6月 1回 |

ウ. 自然観察や採取等の学習機会の提供に関する業務

| No. | 事業名 | 目的・内容（対象・参加人数等） | 時期・回数 |
|-----|-----------------------|--|--------|
| 3 | 北方スノーシュー 野鳥観察&自然散策 | 園内裏山を観察コースとした体験機会の提供を行うことにより、冬に自然に親しむ機会を提供する。 (年齢制限・定員なし) | 1～3月随時 |

エ. 自然体験に関する学習機会の提供に関する業務

| No. | 事業名 | 目的・内容（対象・参加人数等） | 時期・回数 |
|-----|----------------|--|----------------------|
| 4 | 北方 フルーツファーム | 果樹(ナシ)の摘果や袋掛けなど果樹農家体験事業をとおして北海道の食文化や食育に対する理解と関心を深める機会とする。 〔対象〕小学生を含む家族 〔参加人数〕10組程度(各回5組) | 6月 10月 2日間 ×2回 |

| | | | |
|---|-----------------|---|----------------------------|
| 5 | 北方ファーム | 作物の農業体験事業をとおして、野菜の生育状況の観察や収穫を行ない、北海道の食文化や教育に対する理解と関心を深める機会とする。 〔対象〕小学生を含む家族 〔参加人数〕10組程度（各回5組） | 5月 7月 8月 3日間 ×2回 |
| 6 | 自然素材のクリスマスリース作り | 季節や催事に合わせて、白川地域や北方自然教育園内で採取された自然素材を活用し、クリスマスリースを製作する。 〔対象〕小学生を含む家族 〔参加人数〕5組程度 | 11月 1回 |
| 7 | 新年しめ飾りづくり | 自然素材を活用したものづくり体験事業をとおして、創作活動の楽しさや工夫する力を養うとともに、伝統工芸や風習など日本古来からの文化に触れる機会とする。 〔対象〕小学生を含む家族 〔参加人数〕12組程度 | 12月 2日間 ×2回 午前・午後 |
| 8 | 家族でわくわく貝化石観察会 | 豊平川の河川敷にて貝化石の観察を実施して、家族で豊平川周辺の地層や札幌の地形の成り立ちについて学習し、自然について考える機会を提供する。 〔対象〕小学生を含む家族 〔参加人数〕5組程度 | 7月 1回 |

オ. 自然体験や展示に関する情報の収集および提供に関する業務

| No. | 事業名 | 目的・内容（対象・参加人数等） | 時期・回数 |
|-----|-----------|--|-------|
| 9 | 情報収集・提供事業 | 札幌市および自然情報誌等へ施設および自然情報の提供を行う。 札幌市等主催による事業への協力を行う。 | 通年 |

カ. 自然体験や展示に関する市民の自主的な活動及び交流の支援

| No. | 事業名 | 目的・内容（対象・参加人数等） | 時期・回数 |
|-----|------------|--|-------|
| 10 | 市民ボランティア事業 | 市民ボランティアの人材育成事業の実施。 園内環境整備や主催事業サポート、展示等活動を通じて市民の自主的な活動を支援し自己実現の機会を提供する。 | 通年 |
| 11 | 教育機関支援事業 | 北方自然教育園のフィールドを高等教育機関、社会教育等団体の自然学習・調査研究活動等に活用し積極的な学習支援および指導者養成を行う。また、みなみの杜支援高等学校の「協育活動」と連携することにより学習支援を行う。 | 通年・随時 |

キ. 自然体験や展示に関する相談業務

| No. | 事業名 | 目的・内容（対象・参加人数等） | 時期・回数 |
|-----|------|--|-------|
| 12 | 相談業務 | 自然体験や展示に関する各種相談に対応する。 専門的な内容に関しては、道・市・大学等の博物館、科学館等専門機関と連携し対応する。 | 通年・随時 |

ク. その他北方自然教育園の設置目的を達成するために必要な業務

| No. | 事業名 | 目的・内容（対象・参加人数等） | 時期・回数 |
|-----|-------------------|---|--------|
| 13 | 他施設・団体連携事業 | 施設運営の趣旨を理解し、賛同する地域・企業・組織・他施設と連携し各種事業を実施することにより野外教育施設の可能性を拡大する。 | 通年・随時 |
| 14 | 教職員研修事業 | 所管部局と連携し、主に新任小中学校教員を対象に教職員研修を実施する。 体験農園および飼育栽培体験等について研修学習の機会を提供することにより各事業への理解を深める機会を提供する。 〔対象〕市立小中学校教職員 〔参加人数〕30人程度 | 7月 1回 |
| 15 | ロビー展示 | 学習館内での展示活動を通じて来館者の増加を図るとともに、環境保全および在来種の保護に係る啓発や情報発信に努める。 また、近隣の教育機関などと連携して展示方法の工夫やハンズオン展示を導入するなどして、より学習効果のある展示を模索する。 (参加定員なし) | 通年・随時 |
| 16 | 大人の学び舎 「山野草講座」 | 大人を対象とした自然教室で講師を招いて、山野草などの講義と山野草や山菜などの調査を行い、自然環境の学びの機会とする。 〔対象〕大人 〔参加人数〕10名程度 | 5月 1回 |
| 17 | フルーツ・スイーツ 倶楽部 | 定山溪自然の村と連携し、農作物収穫から調理までを体験する機会を提供する。 〔対象〕18歳以上を含むグループ 〔参加人数〕5組 | 11月 1回 |

| | | | |
|----|-------------|--|------------|
| 18 | 団体指導事業 | 野外活動、自然環境理解、工作活動のテーマに沿った内容について、各種団体等から指導依頼を市民活動支援として対応する。 | 通年 |
| 19 | 社会的課題解決事業 | 自然体験活動に関する施設やノウハウを基に、子どもの貧困など社会的課題の解決に向かう事業を実施。 児童会館や若者支援施設等と連携して課題解決を目指す。 | 通年 |
| 20 | 自然環境関連セミナー | 北方自然教育園のフィールドや環境に関する内容をテーマとし、広く自然と人との共生を伝え考える機会を提供する。 〔対象〕 大人 〔参加人数〕 15名程度 | 時期未定 1回 |
| 21 | 使用承認等に関する業務 | 施設利用に係る受付および使用承認を行う。 ・貸室（工作室・多目的室）の利用受付 ・野外活動物品の貸出 ・学習館ロビー展示事業に関する受付 | 通年・随時 |
| 22 | 広報業務 | リーフレット、ホームページ等により貸室利用および団体指導プログラム等の周知を図る。 SNS等を活用した広報により自然および施設情報の発信を行う。 | 通年・随時 |
| 23 | 調査・研究 | 野外教育施設の可能性を拡大するための調査を行う。 また、「学びの農園」運営等を中心として将来を見据えた学習機会の創出のための研究を行う。 | 通年・随時 |

ケ. 自主事業

| No. | 事業名 | 目的・内容（対象・参加人数等） | 時期・回数 |
|-----|----------|---|-------|
| 24 | 児童会館誘致事業 | 北方自然教育園の地域との連携事業として、児童会館などと連携しながら、果樹の収穫体験を通して、自然環境や食について考え、野外活動での集団行動と協力関係を増進させる機会を提供する。 〔対象〕 市内児童会館 〔参加人数〕 引率を含めて 30名×4館 | 10月4回 |